

＜校務利用＞ ③ 学校運営に関わる業務の支援「長期休業期間の動静表の作成」

一覧表(全体)の作成、動静表(個人)の作成、個人表の修正⇒一覧表への反映、個人表と一覧表の間で行事・日直データの反映、コードを4つ作成して自動化！学校で最も忙しい教頭先生の業務を削減！市内全校で共有！

※行や列、セルの削除等は行わないようお願いいたします

1 職員名の設定
「動静表に記入する職員名」を記入する

2 一覧表を作成
A6のカレンダーで開始日を選択、右下の・をドラッグして、学校閉庁日(8/12~8/16)をグレーにするなど背景色を変更します

3 原本(個人)をコピーして個人表を作成します

個人表の作成

4 一覧表の行事等を、必要に応じて記入します。(A6:D45)記入を終えたら、一覧表の(A6:D45)を原本(個人)と個人シートこの操作は、何度でも行えます。

行事・日直のコピー

5 職員が個人表を記入します
記入を終えたら、個人表の「動静部分(個人表のE列・F列)」この操作は何度でも行えます。

一覧表に反映



令和6年度				動静の更新
夏季休業				
日付	曜日	行事等	日直	動静
07/19	金	終業式 鷲宮の里学園合同研修会14:00	根本	前
07/20	土			
07/21	日	会場テスト(3年)		
07/22	月	学校運営協議会 いじめ会議	大吉	出勤
07/23	火	三画①	福島	出勤
07/24	水	三画②、教育課程	細井	出勤
07/25	木	三画③	蒲生	出勤
07/26	金	三画④	今村	出勤



令和6年度				久喜市立鷲宮西中学校			
夏季休業							
日付	曜日	行事等	日直	青木		矢島	
				前	後	前	後
07/19	金	終業式 鷲宮の里学園合同研修会14:00	根本			出勤	出勤
07/20	土						
07/21	日	会場テスト(3年)					
07/22	月	学校運営協議会 いじめ会議	福島	出勤	出勤	出勤	出勤
07/23	火	三画①	大吉	出勤	出勤	出勤	夏休
07/24	水	三画②、教育課程	細井	出勤	出勤	出勤	出張
07/25	木	三画③	蒲生	出勤	出勤	出勤	夏休
07/26	金	三画④	今村	出勤	出勤	夏休	夏休
07/27	土						

生成AIと何度も対話を重ねて完成

Googleスプレッドシートで、学校職員の動静表を作成しています。

- ・一覧表があります。
- ・20枚の個人表があります。
- ・個人表のD6:D45とE6:E45を一覧表にコピーします。
- ・個人表1人目のデータは、一覧表のD6:D45、E6:E45にコピーします。2人目のデータは、右に2列ずれてF6:F45とG6:G45にコピーします。
- ・20人目まで、順番に右に2列ずつずれてコピーします。これらの条件を満たすコードを作成してください。

【ポイント】私たち教職員も生徒と同じ「学習者」という意識が必要！

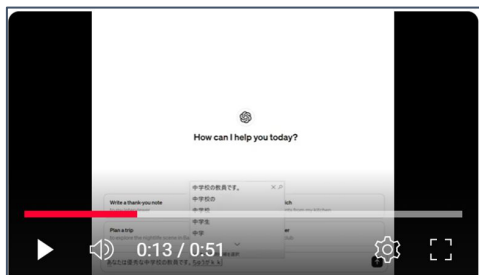
プログラミング的な思考が必須

ChatGPT・Geminiを活用してコードを作成

コードの埋め込み方法等については、YouTube等の学習動画を活用

＜教育利用＞ ③ 授業で／授業以外で、個別最適な生成 AI活用

私たちの学校は、生成AIを、生徒が自らの学習に活用できる環境を整備しています。教員は、生成AIの利用を強制するのではなく、生徒が主体的に情報収集や課題解決に活用できるよう、必要なサポートを提供しています。生徒は、生成AIを学習の補助ツールとして捉え、主体的に学習に取り組むことで、学習意欲の向上に繋がっています。生成AIは、個別最適な学習を実現するための有効な手段です。



年度当初の全校オンライン集会では、はじめに「授業で生成AIを活用していく」ことを話し、その後、共有画面上で校長が実際にChatGPTを使用する動画を生徒に視聴してもらいました。「あなたは優秀な中学校の教員です。中学校に入学したばかりの一年生に、中学校生活について三つアドバイスをお願いします」というプロンプトを入力すると、すぐChatGPTからの回答が出てくる様子を、生徒は食い入るように見ていました。

また、日頃から生徒には、ネット上に「個人情報を入力しない」ことを継続して指導していますが、併せて、ファクトチェック、ハルシネーション、バイアスなどについては、まずは教員が理解することが大前提と考え、生成AIに触れる校内研修も実施しました。※生徒へのアンケート結果(下表)は原文のまま掲載

優れた質問（プロンプト）に必要な5つの要素

～より精度の高い回答を引き出すために～

- 人物：質問をするあなたは、どんな人なのか？
- 内容：聞きたいことは、どんな内容なのか？
- 形式や語調：どんな雰囲気や語調で回答してほしいのか？
- 制約：質問にはどんな状況や背景があるのか？
- 例：例えばどんな回答をしてほしいのか？

生成AIを安全に使うための必要なヒント

- ヒント① 追加の質問や言い換えを試みましょう
- ヒント② プロンプトに偏見がないか確認しましょう
- ヒント③ 個人情報は入力しないようにしましょう
- ヒント④ 'ググる'時は信頼できるWebサイトを参照しましょう

Google研修資料を改訂

どのような課題（内容）で使用しましたか？	この課題（内容）で生成AIを活用した感想を、教えてください。
授業の問いに対して、上手に検索できないときに検索エンジンの代わりとして代用した。	Googleで検索をかけると自分の知りたいことが出てこないことがあるのでその時にChatGPTを使ったら自分の知りたいことが出てきて時間が短縮されるから便利
5%の食塩水100gに食塩のみを足して、10%→15%→20%...としていくときの食塩の量を計算してもらった。	最初は各5gと、誤った答えが返ってきた。そこで正しい数値と考え方をプロンプトで入力したところ、そこから正しい計算式で値を導いてくれるようになった。
電池を作成するときの金属の組み合わせと、そのときの電圧の関係について調べるための実験方法を考えるときに使用した。	非常にスムーズであったが、実験方法について説明（プロンプト）でしっかりと条件制御をする必要があると感じた。また、答えが全て正しいとは限らないので注意が必要だと思った。
英語の課題で間違えた some と any の使い分けを聞くために使用した。	丁寧に例文までつけて教えてくれた。最後にまとめを作ってくれたのもすごくありがたかった。
社会科で自分で調べた内容で量が多かったものを生成AIに要約してもらった。	分かりやすくまとまっており、自分なりの答えを見出すのに効果的であった。
スライドを作るときに画像が必要だなと思って探してみても自分がこれだ！と思う画像がなかったから生成AIに画像を生成してもらった。	ちゃんと指示しないと自分が思っている画像が生み出せないから難しいとは思った。
理科の時間に、光の遊びなどがわからないときにChatGPTを使いました。	とてもいい案がでてきました。自分が納得行くものがでてきて、ChatGPTはいつも使っています。ありがたしい、わからに所などを教えてくれて本当に使いやすいアプリです。
社会科の課題に使用した。	【簡単にまとめて】と言ったら簡単にまとめてくれてネットで調べるよりもわかりやすいしすぐ答えてくれるから便利
わからない箇所を、授業を担当してくれている先生の性格、口調がそっくりなAIを作り、そのAIに色々教えてもらった。	AIももはや人間のようになっていて驚いた。
スキーマのレクについて聞きました。	現実的ではないものもありましたが、参考になりました。ヒントとするには良かったと思います。

生徒の感想で多かったのは、「単純なネット検索と異なり ChatGPTを使うと自分の知りたいことが検索され、時間が短縮され便利」、「プロンプトが不十分では期待する答えが出ない」でした。教職員は、生徒の多様な学習スタイルへの対応や教師の負担軽減など生成 AI活用のメリットを感じています。一方で、ファクトチェック能力の育成やハルシネーション対策として、様々な情報源に触れる機会を提供し、多角的な視点から物事を考える力を育成したり、情報の裏付けとなる根拠を尋ねたり、複数の情報源を比較したりする活動を取り入れています。

私たちは生成AI活用をとおして、一斉指導講義型の「知識の伝達者」から、より生徒一人ひとりに寄り添い、個別最適な学びにおける「学習の伴走者」に役割を変え、想像力や思考力を育む活動に集中するチャンスを得たとも考えます。